

多機能 アナログテスター

(型番 TST-AN501)

品番 : 08-1286

保証書付 取扱説明書



この度は弊社の多機能アナログテスターをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとも大切に保管し、必要なお読みください。

仕様

直流電圧 (DC V) :	10/50/250/500V
交流電圧 (AC V) :	10/50/250/500V
直流電流 (DCmA) :	0.5/50/250mA
抵抗 (Ω) :	×1K
デシベル (dB) :	-20~+56dB (低周波用)
精度 :	DC V 最大目盛値の±4 % AC V 最大目盛値の±5 % DC A 最大目盛値の±4 % Ω 目盛の数値の±4 %
電源 :	単3形 / 1.5V 乾電池×1本
寸法・重量 :	幅62×高さ93×奥行35mm, 約99g (電池含まず)
付属品 :	ピンプラグ式テスト棒 . . . 赤/黒1組 単3形 / 1.5V 乾電池 1本 (動作確認用) ミニカンヒューズ (0.5A/250V) 1個 (内蔵) 保証書付取扱説明書

■ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

- 警告** 取り扱いを誤った場合、人が死亡、又は重傷を負うおそれがある内容を示しています。
- 注意** 取り扱いを誤った場合、ケガをしたり物的損傷を受けるおそれがある内容を示しています。
- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

警告 故障・事故・火災・感電の原因になります。

- 本器の許容測定範囲を超える電圧、電流は絶対に測定をしないでください。機器の故障や感電事故の原因となります。

本器の最大許容入力範囲

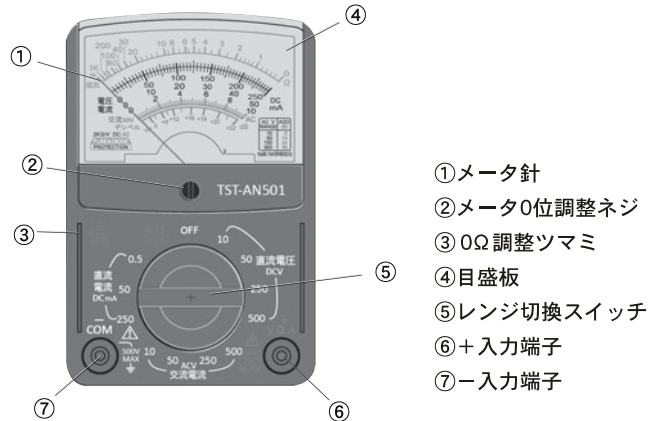
レンジ切換スイッチの位置	最大許容入力
DC/AC V	DC/AC 500V
DC mA	250mA

- 電圧測定時には、濡れた手や水気のある場所では、絶対に操作しないでください。感電事故の原因となります。
- ご自分で分解や改造はしないでください。感電事故、故障の原因となります。
- 測定時に測定物の接点やテスト棒の金属部分は絶対に触らないでください。またコードの被膜が破れたり、破損したテスト棒は使用しないでください。感電事故の原因となります。
- このテスターは弱電用 (500V以下) 対応です。500V以上の高圧回路では使用しないでください。またそれ以下であっても250V以上の強電 (工業用電力ライン) や高周波機器 (電子レンジ等) の高圧測定は危険ですので、絶対にしないでください。人身事故や感電事故の原因となります。
- 測定前に必ずレンジ切換スイッチの位置を確認し、レンジ切換スイッチ位置を変更する時は、必ずテスト棒を測定物から離して行ってください。
- 裏カバーを開いたままの状態で使用しないでください。
- 本器が破損した場合は使用しないでください。感電事故の原因となります。
- 内蔵ヒューズを交換する場合、指定のもの以外は使わないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具のすぐそばなど、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
- 長期間この機器を使用しないときは、本体から電池を取り出す。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示 (+ と - の向き) に注意し表示どおりに正しく入れる。使用推奨期限内の電池を使用する。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない。
- 電池は、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しない。
- 乳幼児の近くや手の届く場所に置かない。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。

注意 破損・故障・ショートの原因になります。

- 使用場所周辺にノイズを発生させる機器がある所や温度変化の激しい場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 本器をベンジン、アルコール、シンナーなどの有機溶剤で拭かないでください。破損や故障の原因となります。
- 本器は精密機器ですので圧力や衝撃、振動を加えないでください。破損や故障の原因となります。

1. 各部の名前



- ①メータ針
- ②メータ0位調整ネジ
- ③0Ω調整ツマミ
- ④目盛板
- ⑤レンジ切換スイッチ
- ⑥+入力端子
- ⑦-入力端子

本体リヤカバーを外し、付属の電池をセットしてから、ご使用ください。

2. 測定前の準備

●メータ0位調整ネジ②の合わせ方

入力端子⑥⑦にテスト棒をつながない状態で、メータ指針がゼロ (目盛板上の左端の目盛線上) を指示しているかを確認します。はずれている場合にはマイナスドライバーでメータ0位調整ネジ②をゆっくりとまわします。メータ針①を目盛板上左端の目盛線に正しく合わせてください。

●レンジ切換スイッチ⑤の合わせ方

レンジ切換スイッチをまわして測定範囲に必要なレンジに合わせます。この場合、測定する値よりやや大きいレンジを選びます。但し、測定値が、わからない時は最大レンジで測定して最適なレンジへ変更します。

警告 測定前にレンジ切換スイッチ⑤の設定位置とテスト棒のプラスマイナスを、必ず確認ください。

●0Ω調整ツマミ③の合わせ方

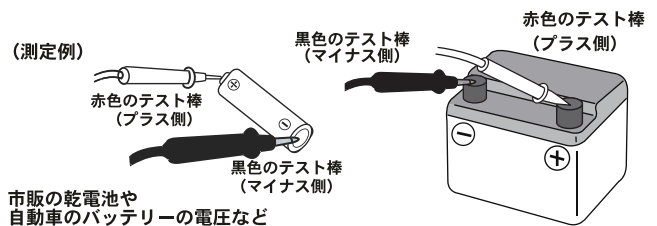
まずレンジ切換スイッチ⑤を抵抗測定レンジに合わせます。テスト棒の先をショートさせて0Ω調整ツマミ③を調整し、メータ針①を“0”目盛の位置に正しく合わせてください。メータ針①が0Ωに達しない場合は、電池が消耗しています。新品の電池に交換してください。

警告 回路内の抵抗測定は、必ず機器 (回路) の電源を切って回路内のコンデンサーが放電した後、測定してください。また電圧の加わった回路の抵抗測定は絶対にしないでください。

3. 測定方法

●直流電圧 (DC V)

- (1) レンジ切換スイッチ⑤を“OFF”から「DC V」の必要とするレンジ位置にセットします。
- (2) 入力端子⑦のマイナス側に黒色のテスト棒、入力端子⑥プラス側に赤色のテスト棒を接続します。
- (3) 目盛板④の2段目か3段目の目盛で読み取ってください。



市販の乾電池や自動車のバッテリーの電圧など

注意 直流電圧 (DC V) を測定する場合、必ず本器を測定回路 (負荷) と並列に接続してください。

●交流電圧 (AC V)

- レンジ切換スイッチ⑤を“OFF”から“AC V”の必要とするレンジ位置にセットします。
- 測定回路の片側に黒色のテスト棒、もう一方に赤色のテスト棒を接続します。
(交流電圧測定には極性はありません。テスト棒はそれぞれどちらに接続しても問題ありません。)
- 目盛板の上から2段目または3段目の測定値を読み取ってください。

(測定例)

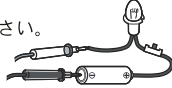
家庭用コンセントの電圧など
※正弦波以外の波形電圧は測定誤差が生じます。
※周波数が高くなると誤差が大きくなります。



注意 交流電圧 (AC V) を測定する場合、必ず本器を測定回路 (負荷) と並列に接続してください。

●直流電流 (DC mA)

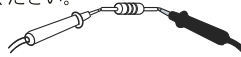
- レンジ切換スイッチ⑤を“OFF”から“DC mA”の必要とするレンジ位置にセットします。
- 測定回路のマイナス側に黒色のテスト棒、プラス側に赤色テスト棒を接続します。
- 目盛板の上から2段目の測定値を読み取ってください。



注意 直流電流 (DC mA) を測定する場合、必ず本器を測定回路 (負荷) と直列に接続してください。

●抵抗 (Ω)

- レンジ切換スイッチ⑤を“OFF”から“Ω”の必要とするレンジ位置にセットします。
- 測定回路や抵抗器の両端にそれぞれのテスト棒を接続します。
- 目盛板の一番上の測定値を読み取ってください。



(測定例)
抵抗器や電気器具コードの結線チェックなど

警告 回路内の抵抗測定は、必ず機器 (回路) の電源を切って回路内のコンデンサが放電した後、測定してください。又、電圧の加わった回路の抵抗測定は絶対にしないでください。

注意 回路内の抵抗測定の場合、回り込み等により、正しく測定できない場合があります。

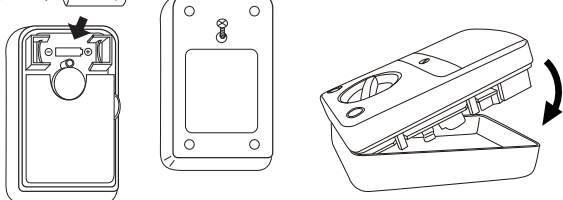
●デジベル (dB)

- 測定方法は交流電圧 (AC V) と同じです。
- 本器のdB目盛は600Ωに1mWの電力が消費された場合の電圧0.775V=0dBを基準としています。インピーダンスが600Ωの回路の場合のみ出力をdB値で読み取ることができます。
- 目盛板の一番下の測定値を読み取ってください。dB値が大きくて目盛が振り切れてしまう場合、レンジ切換スイッチ⑤で上のレンジに切り換え、読み取ったdB値に目盛板右下のチャート値を加算してください。

4. 電池とヒューズの交換方法

- 本器底面のネジをはずして、リヤカバーを開けます。
- 電池、又はヒューズを交換してください。
電池交換の場合、付属されていた電池の向きと同じようにプラス、マイナスを正しく入れてください。
- 使用電池は、単3形 / 1.5V 乾電池1本です。
交換ヒューズは、
0.5A / 250V / φ5×20mm、速断型です。
- リヤカバーをもとに戻しネジで止めます。

単3形 / 1.5V
乾電池 1本



注意 電池やヒューズを交換する場合は、本器の内部部品や配線などに手を触れないでください。故障の原因となります。

警告 ヒューズを交換する場合は、本器指定のものと同交換してください。異なる規格のものを使用したり、銅線などで短絡させたりすることは絶対にしないでください。故障や感電事故の原因となります。

ご注意

アナログテスターに付属している単3形マンガン乾電池の底面には、使用推奨期限が表示されています。

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
(ロ) お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
(ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ) 本書のご提示がない場合
(ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合 (但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
(ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
(チ) 一般家庭用以外 (例: 業務用、または業務用に準ずる使用方法) で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	多機能アナログテスター		★お買上げ日:	年	月	日
型番	TST-AN501	品番	08-1286	保証期間: 本体1年間 (お買上げの日から)		
お客様	★お名前		様			
	★ご住所 〒		-			
		電話		()		
修理メモ						
販売店	★住所		店名			
			電話			
(印)						

(注) ★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者 (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ
●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735
電話受付 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ
048-992-3970 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます